



ロゴマークお披露目会 (10/ 5)
認定に向け頑張っていきましょう
詳細は 2 ページで





議室で、評議員、プロジェクトチームメンバー、関係者が集まり、ロゴマークのお披露目式が行われました。喜界島ジオパーク推進協議会長である隈崎悦男（喜界町長）は、「喜界島は世界でも稀な島（地質・地形）です。その特徴を町民や島外の方々に広く知ってもらいたい。そのため、日本ジオパーク認定を目指し、プロジェクトチームを立ち上げ、喜界島ジオパーク推進協議会を設立しました。現在、ジオパーク独自の活動として、島の食材を活かしたジオパーク給食も実施しています。そして、この度、喜界島ジオパーク（構想）ロゴマークも決定し、来年度の日本ジオパーク認定に向けて活動を進めていきます。」と挨拶いたしました。

閉式の挨拶では、外内淳副会長が「ジオパークへの認定は厳しい道のりですが、喜界島にとっては大きな宝となるでしょう。皆さんと協力して、対話を通じてネットワークを強化し、ジオパーク認定を目指していきたいと考えています。今後も皆様のご支援をいただきながら、認定へ向けて邁進していく所存です。」と述べました。

最後にこのロゴマークは、喜界島ジオパーク（構想）の顔として、日本ジオパーク認定に向け、協議会一同、一丸となって努力を重ねてまいります。皆様のご支援とご協力、そして応援を心よりお願い申し上げます。改めまして、ご応募いただきました皆様には、心より厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

喜界島ジオパーク推進協議会は、喜界島ジオパーク（構想）テーマである「輝く海で生まれるサンゴ礁 上昇する大地 人はその恩恵を育む 『10万年の奇跡』 喜界島ジオパーク（構想）」に沿ったロゴマークを7月7日から8月18日までの期間で公募し、島内外から87作品と多数の応募が寄せられました。一次選考と評議員・学術顧問14名による二次選考を経て、1作品が選ばれました。

そして、10月5日、喜界町役場の会

（ロゴマークコンセプト）

喜界島は、隆起サンゴ礁の島です。太陽の光を浴びてサンゴが育ち、サンゴは産卵して新しい命を繋いでいます。海の中で育ったサンゴは隆起して島の大地になりました。5本のブルーラインは、島を象徴する地形である5段の隆起サンゴ礁段丘と、世界屈指の隆起速度を誇る喜界島の力強い成立ちを表現しています。

